

「ワークショップ Imagine the 統合保育園」の結果報告について

1. 目的 テーマ

- 新しい統合保育園の形を想像し、岩倉の保育で大切にしたいキーワードを出し合い、統合保育園にふさわしいキャッチコピーを創造する

2. 開催日時及び開催場所

- 日 時 12月17日(土) 午前10時から正午まで
- 場 所 総合体育文化センター 2階 会議室・研修室

3. 参加者

- 参加者の募集について

- ・市ホームページ、市公式 LINE、ほっと情報メール、いわくらっこ安心メールにて周知を行い、併せて、あゆみの家、保健センター、子育て支援センターにおいてチラシを設置し、11月21日から12月8日までを募集期間とした。

- 参加人数 10人 (傍聴3人)


- ・参加者を、A 保育園の保護者やかつての保護者、B 保育園の管理職経験者、C 現役の保育士という属性で3つのグループに分けワークショップ (WS) を進めた。
- ・建築士が1人ずつ各グループのテーブルサポート (TS) となり多様な意見を引き出した。

4. 次第

【ワークショップ開始】	子育て支援課長挨拶 ワークショップの進め方や内容について概要説明
【プログラム① 知る】	近年に作られた他市町村の保育園等の事例を紹介 参加者全員で自己紹介
【プログラム② イメージする】	3グループに分かれ、岩倉市の保育で大切にしたいもの・ことについて意見を出し合う。
【プログラム③ 整理して共有する】	グループごとに出された意見を分類し、キーワードに落とし込み、統合保育園のキャッチコピーを作り上げる。 各グループの代表者が発表し、参加者同士で共有する。
【ワークショップ終了】	総括

プログラム	時間	経過の様子
<p>ごあいさつ (予定：15分)</p> <p>統合保育園について</p> <p>WSの作業概要</p>	<p>[15分]</p> <p>: 2分</p> <p>: 13分</p>	<p>子育て支援課よりWSの経緯について説明しました。</p> <p>司会よりWSの作業目的を説明し、作業の流れを説明しました。</p>
<p>ワークショッププログラム①</p> <p>～最近の保育園を知る～ (予定：30分)</p> <p>最近の保育園を知る</p> <p>みんなで自己紹介</p>	<p>[37分]</p> <p>: 15分</p> <p>: 22分</p>	<p>司会より、最近の保育園の事例を紹介しました。保育室のつながりや園庭との関係など、設計事例の写真を交えて説明しました。</p> <p>用意された自己紹介カードを書き最近ハマっている事や趣味、近況を話したりと会場の緊張感も少しほぐれたようでした。</p>
<p>ワークショッププログラム②</p> <p>～新しい保育園をイメージする～ (予定：20分)</p> <p>ふせんへのキーワード出し</p> <p>■キーワード出しのテーマ 岩倉の保育で大切にしたいモノ・コトは何ですか？</p>	<p>[20分]</p> <p>: 20分</p>	<p>新しい園ではどんなことをしたいか どんなふうに子ども達に過ごしてほしいか 1日の流れをイメージしながら、各テーブルごとに 沢山のキーワードを出していきました。</p>



プログラム	時間	経過の様子
<p>ワークショッププログラム③</p> <p>～イメージを整理して共有する～ (予定：30分)</p> <p>キャッチコピーにまとめる</p>	<p>[35分]</p> <p>: 35分</p>	<p>TSも協力して、各ふせんのキーワードを部類ごとに分けて整理しました。ソフト・ハード面、先生と子ども保護者などのカテゴリーでグループ分けします。整理した内容を見ながら話し合い、キーワードを絞り込みながらグループのキャッチコピーを話し合いました。</p>
<p>ワークショッププログラム④</p> <p>(予定：15分)</p> <p>各グループの発表</p>	<p>[12分]</p> <p>: 12分</p>	<p>各グループの代表がキャッチコピーとグループ内で出た意見を要約して発表しました。各グループの特徴が表れた内容となっており、他の参加者から「なるほど、確かに」等といった声もあがりました。</p>
		
<p>終わりのあいさつ</p> <p>(予定：10分)</p> <p>ワークショップのまとめ</p>	<p>[5分]</p> <p>: 3分</p>	<p>司会より、今回のWSの総括をしました。今回の作業で残していきたい岩倉の保育や、期待する園舎の姿について話し合うことができました。今後は、各グループで出された3つのキャッチコピーをもとに具体的な設計作業が進んでいくこととなります。</p>
<p>終わりのあいさつ</p>	<p>: 2分</p>	<p>子育て支援課よりお礼のあいさつ</p>
<p>あわただしく過ぎた2時間だったかもしれませんがWSはほぼ予定通りに終了できました。お疲れ様でした。</p>		

各グループで発表されたキャッチコピーとグループ議論の概要は以下のとおりです。

Aグループ 「愛され続けられる保育園」

- : のびのびできる快適な園舎
- 水廻りの充実/きれいなトイレ/制作スペースがある
- : 地域とみんなとのつながり
- 地域の方が気軽に集える場所/見守りスペース/あゆみの家と交流しやすい/シンボルがある。
- : 園庭のびのび
- 裸足で過ごせる床・園庭/畑やたんぼを経験できる/木登りできる
- : 余裕のある保育ができる(先生にも余裕がある)
- 異年齢保育のしやすい保育室/自分であそびを選べる/先生がゆっくりできる休憩室
- : 駐車場、保護者負担を軽く
- 駐車場へのアクセスが安全である

安心安全を第一に、園舎内外で元気に遊べるというキーワードの他、在園児の保護者だけでなく未就学児の保護者なども気軽に訪れられる場所にしたいという意見が交わされた。さらにはみんなのシンボルとなるような園舎がよいという意見も加わり「愛され続ける」というキャッチコピーが出された。

Bグループ 「つながる保育園」

- : 地域とつながる
- カフェがある子育て支援スペース/地域の方が自由に出入りできる
- : 先生と園児、先生同士がつながる
- 全体を見渡せる/保育室間の間仕切りが無い/職員がきちんと休憩できる
- : 園舎がつながる
- 移動式の壁で多目的に利用できる/フリーに使える保育室がある/ランチルームがあつて調理室が外から見える
あゆみの家とスムーズに交流
- : 外遊び
- 園庭を囲むような園舎/大きな土の山がある/あゆみの家の子も一緒に遊ぶ園庭

保育を円滑に進められる園舎というイメージが共有され「目が届く」「互いの動きが見える」というキーワードから、それは管理運営だけでなく充実したコミュニケーションにもつながるのではないかという議論がされた。新しい保育園は「先生と園児 先生同士/先生と保護者」など様々な関りの生まれる園舎にしたいという思いから「つながる園舎」となった。

Cグループ 「“まいにち” “いつでもどこでも” わくわくできる保育園」

- : 全身で遊べる外空間
- 広い園庭/土山など自然なものでできた遊び場/シンボルツリーや実のなる木
- : 充実した水廻り
- 各保育室にトイレ/各保育室に手洗いがあつる/幼児用シャワーやお湯ができるように
- : 保育室
- 遊びのコーナー分けができる/こどもの隠れ家がある/午睡室が欲しい/収納スペース
- : その他
- 内部の廊下(寒くなくて遊べる)/木の温かい雰囲気/部屋からすぐに園庭に出られる

外遊びの環境が充実しているという点を柱に議論が進んでいた。ここでいう外遊びとは全身で自然と接してどろんこで遊ぶという意味であり、そのためにもシャワーやお湯など後始末がしやすいように水廻りが充実している必要があるという意見であった。園舎内においては様々なコーナーが設けられる作りがよいなど、多様な遊びを通してワクワクできる保育園が良いという議論から「わくわくできる」というキャッチコピーがつけられた。

